（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　レプタリンク			
○保護者評価実施期間	2026年　9月　14日	～	2026年　9月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	30	（回答者数）	24
○従業者評価実施期間	2026年　9月　14日	～	2026年　9月　30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　10月　15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日々の適切な支援の提供	専門職や児童発達支援管理責任者によって設定された支援計画書は職員間で共有し、共通理解に努めている。活動プログラムは個人で発案し、職員間で意見を出し合い連携を取っている。また、事業所共有のフォルダから過去の支援、事例について閲覧できる仕組みがあるため発案もしやすい。	共通理解において、休日の職員に認識や理解の差が広がってしまわないように、より正確な情報共有の仕組みを検討する必要がある。活動プログラムにおいては日々異なる目的意識を設定し、固定化を防いだうえで、よりよい療育提供を目指す。
2	・保護者への説明等	支援計画書を用いた説明では、ご利用者様が感じた不明な点や気がかりな点について、何度でもご相談いただける環境がある。また、日々の活動プログラムにおいては、連絡帳に加え、より詳細な情報を含んだ個別の連絡、ブログ等で発信している。	ご契約時・ご契約後の日々の活動を問わず、十分な時間をもって事業所での様子をお伝えし、利用者様やご家族の皆さまの安心を得られる環境づくりを継続していく。
3	・業務改善	職員間の意見交換・情報共有だけでなく、保護者様からのご意見をもとに適宜ミーティングをおこなっている。また、活動プログラムは記録として詳細を残し、PDCAサイクルに基づいた振り返りをおこなうことで活動プログラムと職員の資質を高めている。	業務改善の機会は十分に用意・設定されている。 限られた時間の中で十分な時間を確保し、さまざまな職員の意見を取り入れた、有意義なミーティングや精度の高いPDCAサイクルをおこなっていく必要がある。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応を想定した避難訓練の実態、および実施に関する周知力の低さ	実施されているかどうか「わからない」とご回答いただいた保護者様が多かった。月に一度の避難訓練のため、利用回数の少ないご利用者様は実施できない可能性が高いこと、その日の活動が避難訓練であるかどうかは配布している月間プログラムで確認するのみであることの二点が大きな要因であると考えられる。	避難訓練の回数を増やすことは時間の観点から現実的ではないが、避難訓練の様子や、おこなう予定をブログ等で公開し、お知らせの配布や個別の連絡をもってご利用者様ご家族への周知に繋げていく必要がある。
2	地域の児童発達支援センターとの連携に改善の余地があり、必要等に応じたスーパーバイズや助言を受ける機会の少なさ	「実施はされているものの小規模」という意見が出ている。さまざまな研修の機会は多く用意されており、この課題も研修の一部という受け取り方であれば、「広く浅く」の実施回数の少なさに繋がってしまっていることが要因として考えられる。	スーパーバイズや助言を受ける機会を増やし、地域の児童発達支援センターとの連携をさらに強めることで、高度な療育提供と地域に結び付く営業に繋げていく必要がある。
3	業務内容に担当をつけていることによる、職員間での各担当業務の不透明さ	事業所における自己評価において「(他の職員がおこなっているため)わからない」という意見が多く見られた。また、「その業務を担当している"他の職員"も誰かがわからない」という意見も見られている。 新入社員も多く、業務内容について伝えきれていないことが要因として考えられる。	業務内容に担当をつけることにおいては、業務の見落としを減らし、効率化と明確化の点で大きな工夫となっているため継続していく。新人教育を進め、業務担当と流れを把握してもらい、曖昧な点に関しては上長に確認できる体制を整える。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス　レプタリンク

公表日　2026年　10月　31日

利用児童数　30　回収数　24

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	87.5%	4%	0%	8.3%		スペースを活用して取り組むことのできる活動内容を引き続き考案してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	83.3%	0%	0%	16.7%		適宜、職員の配置を見直しております。皆さまにご安心いただけるよう、努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	91.7%	4%	0%	4.2%		限られたスペースではございますが、「宿題はこの部屋(場所)」など、行動ごとの空間を設定し、こどもたちにわかりやすい構造化を図っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	87.5%	0%	0%	12.5%		今後も清掃を欠かさず、安心・安全・清潔を徹底してまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	83.3%	13%	0%	4.2%		職員間での日々の情報交換・共有を欠かさずにおこない、よりよい支援ができるように努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	91.7%	4%	0%	4.2%		今後も、支援プログラムと支援内容が大きく外れていないか確認しながら活動をおこなってまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画／放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100.0%	0%	0%	0.0%		保護者様のニーズを分析・尊重しながら、職員や専門職との話し合いを踏まえ、支援計画を作成しております。今後も適切な支援がおこなえるよう、努めてまいります。
	8	児童発達支援計画／放課後等デイサービス計画には、それぞれのサービスガイドラインの「児童発達支援／放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	95.8%	0%	0%	4.2%		
	9	児童発達支援計画／放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	91.7%	4%	0%	4.2%		計画に沿った支援を、職員間の共有をもって取り組んでまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	95.8%	4%	0%	0.0%		似通った活動内容であっても、体得する目的が異なり、多角的な視点で活動に取り組んでおります。職員一丸となって、活動の工夫を続けてまいります。
	11	（児発）保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。 （放デイ）放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	41.7%	16.7%	13%	29.2%		さまざまな行事にてレプタグループ間での交流を深めております。事業所外、地域のこどもたちとの交流・活動については検討してまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.0%	0%	0%	0.0%		今後もわかりやすく、より丁寧に、納得いただけるサービスの説明を継続してまいります。
	13	「児童発達支援計画」／「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95.8%	0%	0%	4.2%		今後も支援内容の丁寧な説明を心がけてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	75.0%	8%	0%	16.7%		家族支援プログラムは現在、実施できておりませんが、個別に支援内容のお話をさせていただいております。また、近隣の研修会等の情報提供につきましては、頻度を高めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	87.5%	8%	4%	0.0%		保護者様には連絡帳でのお伝えに加えて、いつもと変わった様子があれば、お電話・送迎時にお伝えしております。気がかりな点がございましたら、お気軽にご相談ください。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	83.3%	13%	0%	4.2%		定期的に面談を実施しております。また、助言等の支援については直接・電話での面談時に聞き取りをおこない、個々に対応させていただいております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95.8%	4%	0%	0.0%		お子さまの気持ちに寄り添い、上手く気持ちや問題を表出できるように、今後も共感的な支援を継続してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	58.3%	13%	0%	29.2%		事業所の行事に合わせて保護者会等を実施しております。皆様にいただいた評価を活かし、様々な交流の機会を設けられるよう、鋭意検討中です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	91.7%	8%	0%	0.0%		書類のやり取りや来所された際に聞き取りをおこなっております。こちらは今後も継続してまいりますが、お困りでしたらいつでもご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	91.7%	8%	0%	0.0%		ご利用者様との信頼関係を深め、些細なことでもお話・ご連絡いただける環境づくりに努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	95.8%	0%	0%	4.2%		引き続き、ブログ・SNS等による高頻度の発信を保ち、日々の活動の様子をより詳細にお伝えしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91.7%	0%	0%	8.3%		個人情報およびコンプライアンスに関する研修をおこない、個人情報への意識を高めております。今後も個人情報への取り扱いに留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	87.5%	0%	0%	12.5%		研修等でマニュアルに基づいた訓練を実施しております。各種マニュアルの常時公開は現在おこなっておりませんが、要望があれば公開すること、発生前ならびに発生時に速やかにマニュアルを保護者様に伝達する体制を整えております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	79.2%	4%	0%	16.7%		月ごとに異なる訓練を実施しております。継続しておこない、お子さまならびに職員による非常事態時の安全確保に努めてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	91.7%	0%	0%	8.3%		お子さまの安全第一を考えた環境づくりを続けてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	95.8%	0%	0%	4.2%		発生状況を確認し、ご利用者様へ詳しくお伝えし、速やかに対処してまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	95.8%	0%	4%	0.0%		お子さまにとって安心・安全である場所と感じていただけるように日々のコミュニケーションをおこなってまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	91.7%	4%	4%	0.0%		職員が一丸となって、お子さまとのコミュニケーションを深め、楽しんでいただける活動内容の考案を続けてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	91.7%	8%	0%	0.0%		引き続き、ご満足いただけるサービスの提供を目指してまいります。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　レプタリンク

公表日　2026年　10月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・療育しやすい広さで勉強等の部屋と主の療育スペースを分けている	十分な広さはあるが、走り回りたい児童が複数名いると衝突・怪我をしかねないため注意が必要である
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・子どものメンバーをみて、当日に臨機応変に配置している	当日の受け入れ人数や欠員に応じて配置されているが、活動内容と児童の様子によっては職員の追加が望ましい場面もある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%	・広さは十分で、活動内容やルールの設定で安全確保をおこなっている	わかりやすく構造化された環境で、日々の清掃によって清潔な空間ではあるが、壁紙がはがされてしまうことやじゅうたんの汚れが取れにくいことから第一印象による「清潔さ」を感じてもらいにくい。また、床がじゅうたんの為、摩擦等の怪我に留意する必要がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	・故障やかべの修理が必要な部分が発生すると、迅速に修理を依頼している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・宿題や製作といった日常の活動に加え、気持ちを落ち着けたい児童や個別でお話をする際に使用/促している	可能であるが故に、こどもたちが扉を使って遊ぶ・勝手に入って鍵をかけてしまう事案が発生しうる
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	86%	14%	・広く参画している。職員間で連携し、特に新入社員にはレベルアップにつながる体制が整っている	一つのPDCAサイクルにさまざまな職員の意見を取り入れることで効果的にしていく必要がある。時間が確保できれば回数を増やす必要性を検討していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	0%	・評価表の内容を受けて、ミーティングがおこなわれている。業務改善にはつなげることができている ・(わからない)	評価表だけでなく、日々いただいたご意見やご要望に対してもミーティングで対応できるが、長時間の確保が難しい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・職員間で意見が出し合える雰囲気がある ・営業後に活動の内容について気になる点がなかったか職員に確認している	シフトの関係から、正確な情報共有はお休みの職員へおこないづらい。業務時間外の情報共有とならないように別の方法を模索していく必要がある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	・外部評価の内容をまとめ、改善案と実施していく内容を本部へと報告している	把握していない職員も確認された。今後も他業種の方や地域の方の声を業務改善につなげる必要がある。より専門的な方、機関に評価いただける機会の設定が必要である
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・研修の機会は多く用意されている	機会は十分な回数用意されているため、研修の内容を振り返る機会を検討する等、質の高い研修として会得できる仕組みを整える必要がある
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・回数が平均的になるように月間プログラムを設定している。毎月必ず配布している	よりご満足いただけるサービス提供のため、支援プログラムの目的や保護者様に広く周知できる機会を検討していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画および放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・アセスメント用紙にご記入いただく仕組みがある	ニーズや課題が大まかすぎるものについてはご利用者様との話を深め、具体的なニーズや課題として昇華させ、対応しやすい形へと変容させる必要がある
	13	児童発達支援計画／放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	86%	14%	・欠席した職員にも支援会議での情報共有がなされ、共通理解に努めている	ご利用日の少ない児童については、各種機関への聞き取りを増やす等の工夫が必要である
	14	児童発達支援計画／放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	86%	14%	・支援計画書は職員間で共有され、支援内容の振り返りをおこなうことで計画に沿った支援がおこなえる/に軌道修正できる仕組みがある	たくさんのご利用者様への活動提供として、支援計画には大まかに沿った支援をおこなうことになり、細部まで工夫できない支援となってしまう
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・事業所共有のフォルダによって確認できる仕組みが整っている	確認は個人の判断に委ねられているため、認識や理解の差が職員間で生じてしまう
	16	児童発達支援計画／放課後等デイサービス計画には、それぞれのガイドラインの「児童発達支援／放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	86%	14%	・児童発達支援管理責任者や専門職とのやり取りを踏まえながら、適切な支援項目、支援内容の設定を図っている	児童発達支援管理責任者や専門職だけでなく、児童指導員のスキルアップを図ることで支援項目、支援内容に適した活動をおこなえる環境を目指す

切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	71%	29%	・個人の発案で、職員間で意見を出し合う雰囲気はある	事業所内の雰囲気づくりに努め、よりよい活動プログラム提供を目指す
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・似通った活動でも目的意識を変えて取り組んでいる ・メインの活動は基本的に繰り返さない	利用回数の多いご利用者様には、似通った活動が多いと感じられるおそれがある
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	86%	14%	・専門職による小集団療育、個別療育で対応している	こどもたちの間で楽しいこと・特別なこととしての認識が強くなっている。要望が増えることを見越し、専門職の負担も踏まえて時間の設定をおこなう必要がある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	71%	29%	・外出等の活動内容については共有がされ、連携を図っている	外出等でバタバタとしてしまうとできない日もある。業務日誌や個人の活動記録を活用し、別の形での共有ができないか検討していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	71%	29%	・振り返りは特定の個人や活動中にあった大きな滞りにおこなっている印象が強い	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	・事業所内にて職員が閲覧できる資料としてまとめている	業務日誌の書き方について分からない職員が見受けられた。マニュアル化を進め、他職員にも正確に伝わる仕組みをつくる必要がある
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画／放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	86%	0%	・定期的なモニタリングを欠かさずおこなっている ・(児発管業務のためわからない)	定期的なものだけでなく、ご利用者様からの要望があった際には支援計画について見直す体制を整える
	24	【放デイ】放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	86%	14%	・地域交流の活動以外には組み合わせて取り組めている印象が強い	「地域交流の活動」は祝日や長期休み等を除けば、土日がほとんどである。平日のご利用者様にも提供できる仕組みを検討していく
	25	【放デイ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・嫌いな食べ物を一つは食べる、挑戦したい遊び等により、職員や児童同士で話し合う場をもうけている	普段から「どうしたいか」を伝えてもらうようにしている。今後も自己決定できる環境づくりに努めていく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・児童発達支援管理責任者や専門職が参画している	事前に職員間での共有から精度の高い情報を集め、児童に最適な支援がおこなえるように継続する
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71%	14%	・情報共有がおこなわれている ・(わからない)	今後も各種機関と連携して、迅速な対応ができる体制を続けていく。年度替わりに伴って体制の見直しが必要な場合がある
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	14%	71%	・研修の機会が用意されている	回数は少ないものの実施している。小規模だという意見が見られたため、必要に応じて回数を増やす必要がある
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	14.3%	85.7%	・レプタグループ内の他事業所(レプタ・レプタⅡ・レプタチャット)とは交流する機会がある	グループ内の他事業所との交流はできているが、地域の放課後児童クラブや児童館との交流は現在、おこなっていない。機会の検討に加え、地域にひらかれた事業所を目指す
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・日々の連絡帳に加え、送迎時・個別の連絡で様子を詳細にお伝えしている	送迎時は他事業所の児童も送迎となるため、状況が分からないこともある。上手くお伝え出来ないことが多い
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86%	14%	・研修の情報提供はおこなっている	研修の機会は少ない。回数の増加や、質の高い研修がおこなえるように検討していく
	32	【放デイ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・保護者様より行事予定をお預かりし、連携しつつ学校との連絡調整をおこなっている	各機関との関係を深め、迅速な対応ができる体制を整えていく
	33	【放デイ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	71%	14%	・グループ内事業所(レプタ・レプタⅡ・レプタチャット)に在籍していた児童は共有できている ・(わからない)	進学されたご利用者様も多く、利用されていた保育所や幼稚園等との情報共有を深めていく
	34	【放デイ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	29%	29%	・現時点とこれまでにおいて学校卒業生がいないため(該当者がいない) ・(わからない。承知していない)	該当者が発生する場合に備え、情報共有ができる体制を整えておく
	35	【放デイ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	14%	57%	・機会があれば参加している ・(わからない)	代表者が参加することが多い。参加できる機会には多くの職員が参加しているが、積極的な参加となると難しい
	36	【児発】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	0%	・(わからない)	

	37	【児発】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	0%	・(わからない)	
保護者への説明等	38	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	86%	0%	・ご契約時に十分な時間をとって説明をおこなっている ・(担当業務でないため不明)	担当者以外の詳細把握が難しい
	39	児童発達支援計画／放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・作成前に、必ず面談をおこないニーズの確認をおこなっている	日々のやりとりの中からニーズの再確認をおこない、職員全員が最善の利益を目指す目的意識を持って活動に取り組める環境づくりが必要である
	40	「児童発達支援計画」もしくは「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%	・同意を得る前に必ず説明をおこなっている ・不明な点や気がかりな点があれば確認できることをお伝えしている	ご利用者様の安心が得られるまで説明できる環境はあるが、同意前の説明において十分な時間の確保が難しい
	41	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・相談があった内容については職員間で共有され、対応案が出される	相談しやすい環境を整え、安心してご利用いただける事業所を引き続き目指していく
	42	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	86%	14%	・事業所の行事に合わせる形で実施している ・今後、回数を増やしていくと聞いている	現在は小規模ではあるが、事業所の行事に合わせる形で実施されている。いただいた評価を踏まえ、回数を増やす必要がある
	43	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	86%	0%	・必ず本部へ報告し、速やかに状況の確認をおこなっている ・(苦情への体制が不明)	迅速・正確な確認を心がけているが、状況の程度によってはご利用者様への返答が遅れてしまうことがある
	44	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・通信の発行はブログ、行事予定等は月末に大まかなものを、日にちが近づいてくるとより詳細な情報をお伝えしている	ブログの内容が「事業所を知ってもらう」ことに寄っている。ご利用者様に改めての周知が必要か検討する必要がある
	45	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	86%	14%	・鍵付き棚での保管、破棄にはシュレッダーをかけている。ブログは文面、掲載写真において職員のダブルチェックをおこなっている	個人情報保護に関するコンプライアンス研修もおこなっている。今後も十分に留意して取り扱うようにする
	46	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・専門職との話し合いを踏まえ、話し方や伝え方に工夫を凝らしている ・連絡文をひらがなで記入し分かりやすくしている	専門職と綿密に情報を交換し、事業所全体としてのスキルアップに努める
	47	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	57%	43%	・地域の企業とはイベント等で協賛いただける関係が築かれている	招待となると実施は難しいが、地域に根付くような運営を心がけていく
非常時等の対応	48	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・職員間ではマニュアルが確認できる仕組みが整えられている	利用者様ご家族への周知はおこなっていないが、災害等発生時にマニュアルおよび今後の対応を速やかに送信する仕組みが整えられている。訓練や研修は引き続けておこなっていく
	49	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86%	0%	・BCPを策定しており、昨年よりも訓練等の活動・研修を増やしている ・(わからない)	日々の活動としてみた際に、ご利用日の観点から訓練に参加できない方や、大きく期間が空いてしまう方が出てしまうため、事業所全体でおこなう等の工夫が必要と考えられる
	50	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・発生しうる状況に対する個別の対応策を用意している	事前のシミュレーションとして、発生しうる状況を改めて確認しておく必要がある
	51	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・職員間での共有を欠かさず、クッキング等の料理提供時には特に確認を怠っていない	保護者様への事前の確認はおこなっているが、ダブルチェックとして職員間・児童本人への確認も欠かさずおこなっていく
	52	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86%	14%	・研修やミーティングの回数も多く、安全確保への取り組みは十分なされている	研修等で得た知見の共有、資料の振り返りなどを日頃からおこない、知識だけでなく的確に実践・対応できるように備えておく必要がある
	53	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	86%	0%	・文章として配布することで周知を図っている ・(わからない)	職員間でも共有し、保護者様とより迅速な連携が図られるように努める必要がある
	54	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	86%	14%	・発生しうる事案、実際に危険を感じた事案にはヒヤリハットの状況として用紙にまとめている	今後も充実させていき、未然に防ぐことのできる安全な環境づくりに努める必要がある
	55	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・ミーティングおよび研修会にて対応策を検討している	保護者様からの疑惑、疑念が確認された際には回数を増やす必要がある
	56	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・身体拘束の必要が発生しうる児童のご利用日には、事前に身体拘束の妥当性について改めて確認している	身体拘束はあくまでも支援に基づく最終手段であり、恒常的におこなわれないような環境づくりが必要である